

学校支援活動事業訪問

国見町訪問【国見町立くにみ幼稚園】

訪問日：平成29年10月30日（月）10：00～11：00

場所：国見町立くにみ幼稚園

内容：全園児対象「人形劇鑑賞」での保育支援ボランティア

本日は、全園児対象の人形劇鑑賞を実施しました。町内の人形劇サークルの「エプロン」から6名のボランティアの方々が来園して、保育支援を行いました。ボランティアの方々は、音楽に合わせて人形を操り、子どもたちと「こぶた たぬき きつね ねこ」の歌を歌ったり、「三匹やぎのガラガラドン」のお話を演じたりと、子どもたちの興味をそそる人形劇を披露しました。自作の人形や音声を上手に使い、子どもたちに楽しい時間を提供していました。子どもの実態や発達段階により、声のトーンを変えたり台詞を工夫したりしているとのことでした。結成22年目の熟練の技能が随所で見られ、子どもたちは人形劇の世界に引き込まれていました。



園児は「あおむし（の話）が楽しかった」「トトロ（の歌）が楽しかった」など、自分が感じたことを満足した表情で語っていました。

ボランティアの方々も、「子どもたちの反応のおかげで、自分たちが楽しんでやっている」と話しています。「子どもたちの笑顔や歓声が励みになっている」とのことでした。また、「ボランティアで学校や幼稚園に入ることによって、子どもたちと顔と顔を合わせることができるので、町中で会っても声をかけてくれる」と嬉しそうに話していました。国見町の学校支援活動事業が地域や学校に根付いてきており、地域との連携が図られていると感じました。

園長先生は、「エプロンさんのような町内在中の顔見知りの方々がボランティアに来てくださることで、意見交換がしやすい」と話します。また、「互いに何でも言える関係は、子どもたちのためになっている」と笑顔で話していました。

国見町訪問で見つけた学校支援活動のポイント

- ・学校（幼稚園・保育園）も、ボランティアも、互いに何でも言える風通しのよい関係
- ・ボランティア自身が活動を楽しむということ

